

the People

元気なまちには 元気な主張を続け
元気に行動する 市民がいる

the people (ザ・ピープル)
2018年 新春特別号

発行：特定非営利活動法人 ザ・ピープル
代表者：吉田 恵美子
所在地：〒971-8168 福島県いわき市小名浜君ヶ塚町13-6
TEL:0246-52-2511 FAX:0246-92-4298
E-mail: the-people@email.plala.or.jp
U R L: http://npo-thepeople.com/



2018年のスタートにあたって

旧年中は大変お世話になりました。今年もよろしくお願い申し上げます。
2018年は、本会にとって激動のなかでの幕開けとなりました。
これまで本会の活動拠点となっていたいわき市小名浜のショッピングセンター「タウンモールリスポ」の閉館。そして、それに伴って館内で営業していた本会のチャリティーショップと本部の退館。加えて、これまで「小名浜地区復興支援ボランティアセンター」を設けていた場所での本部・チャリティーショップの移転・整備。そうしたことが、年末年始の1ヶ月ほどの中で慌ただしく進められたのです。

- 新活動拠点：
特定非営利活動法人ザ・ピープル本部事務局、小名浜ボランティアセンター、ピープルチャリティショップ君ヶ塚店
 - 住所 〒971-8168 福島県いわき市小名浜君ヶ塚町13-6
電話 0246-52-2511 Fax 0246-92-4298
- 以前のものから変更になっております。登録の変更をお願い申し上げます。

小名浜の街中に住む住民にとっては、50年という長い歴史を持つショッピングセンターの閉館は名残惜しいもので、1月15日の閉館日にはたくさんの住民が訪れて別れを惜しまれました。本会のチャリティーショップにも連日沢山の馴染みのお客さんが訪れ、長年顔なじみになっていたスタッフとの思い出話に花を咲かせていました。それでも、2月には場所を移して再スタートすることが決まっていることもあり、あまり湿っぽくならず済んだことが救いでした。長い間ピーぷるリスポ店をご愛顧くださった皆様、ありがとうございました。



店舗より一足早く、本部機能は新しく整備された建物の中で稼働し始めています。これまでは、リスポ内の本部とボランティアセンターとの間で情報の行き違いといったトラブルも起きがちだったのですが、これからは1部屋の中で会の全ての動きが把握できるようになり、想像以上の利便性を本部スタッフ一同感じています。ただ、本部スタッフとボラセンスタッフ合わせて9名。全員が机を並べると既にこの施設では手狭だという声も上がり、今後の課題が早くも浮かび上がっています。

こうした活動拠点を整備するために、皆様にご支援をお願いしたクラウドファンด์「FAAVO磐城国」では、目標金額の182%を達成するという思いがけない結果をいただくことができました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。

なお、このクラウドファンด์を実施するにあたって皆様からお寄せ頂いたアイデアのひとつ、「地域の人々が気兼ねなく交流できるような場所を作るために、ウッドデッキをみんなの手で作ろう!」という取り組みを実現しようと準備が進められています。どんなウッドデッキが出来上がるのか楽しみにしてください。



つむぐ・ともす・かなでる ふくしまメモリアルライトアップ2018 in 久之浜

今年の3月11日、東日本大震災から丸7年の節目の時を迎えます。
その時に合わせて、希望の明かりをみんなで灯そうと、ふくしまオーガニックコットンプロジェクトではその準備を進めています。みんなで栽培したオーガニックコットンをみんなで手紡ぎし、出来上がった糸を風船の周りに貼り付けて作るランプシェード。その中に、LEDライトを入れて、灯す電気は自然エネルギーで生み出します。
これまでも、地域内外の沢山の方々が糸を紡ぎ、250個ほどのランプシェードを作り上げています。特に、中心的な役割を担ってくれているのは、市内四倉町上柳生のコットン畑で活動している織姫の会の皆さんです。コットン畑の来訪者にランプシェード作りの指導をしてプロジェクトの裾野を大きく広げて下さいました。また、神奈川県では、「WE21ジャパン」と「青い鳥」という二つの市民団体の方々が、私たちと連携してプロジェクトの後押しをして下さっています。さらに、企業の中にもコットンランプシェードを作る社員ボランティアを行って下さる方々が現れ、3月11日には自分たちが制作したランプシェードがともる瞬間を見たいとわざわざおいで下さる方もあるようです。

1月20日には、当日のイベント会場となるいわき市久之浜の「浜風きらら」において、コットンランプシェードづくりのワークショップが開催され、久之浜地区の住民の方たちがランプシェードを作り上げていました。同様のワークショップは2月3日にも催されることになっています。みんなで作り上げたランプシェードに明かりが灯る瞬間を、ぜひ一緒に過ごしてください。この事業は福島県「ふるさとふくしま交流・相談支援事業」として行われます。



つばやき

若い方達が結婚して新しい家庭を築くニュースは何にもまして嬉しい事である▼10数年前までは結構まとめで感謝されたものである。

宮崎市の人口規模の街が消える計算になる。驚きであり将来に不安を感じる▼国は出生数の増加を図るために様々な形での施策を実施している。しかし結婚は前年より1万3500組も減少し、婚姻率が10000人あたり4.9組。これもまた過去最小を記録したという。こうした数字を見るにつけ本気になって周りの大人は若い方達のために出会うの場を積極的に提供していくべきだと思ふ。上手く行かず後味が悪いからと手を引いてる場合ではない▼先日、昨年お見合いを薦め結婚したMさんと夫から「妊娠しました。今つわりが酷くて大変です」との電話を頂いた。「大丈夫もう少しの辛抱よ頑張ってください」と励まして。最近お見合いをさせたHさん。いい雰囲気なのを期待できる感じ。私自身60歳。人生総仕上げの時を迎えたと自覚している。今こそ社会の現状に目を向け、山積している仕事を一つ一つやり切らねばと呟いた私である。
甘南備かほる